

計画策定までの流れ

地域の強み

■地域の強みを出し合いました。

- ・豊かな自然環境に恵まれている。
- ・商業施設が比較的充実している。
- ・医療機関が通いやすい所にある。
- ・各種団体の運営がしっかりしている。
- ・近所の交流・支え合いが良好といえる。
- ・道路や歩道の整備が行き届いている。
- ・子育てしやすい環境である。
- ・優しく誠実な人が多い温かな地域である。

課題の抽出

■地域で気になること(課題)について話し合いました。

- ・路線バスの本数が少ない。
- ・地域の行事や活動への参加者が少ない。
- ・自治会への加入率が低い。
- ・各種団体等の役員の担い手が不足している。
- ・大型商業施設により交通量が増加している。
- ・空き家、空き地が増えている。
- ・高齢者の支援が十分とは言えない。
- ・開発が進み、地域の一体感が薄れている。

目指す地域の姿

■目指したい地域の姿の意見を出し合った中から、計画のタイトルを決めました。

「支え合い助け合いに包まれた温かい横川地区にしよう！」

- ・自治会や地域活動への積極的な参加を促し、活気ある街を目指します。
- ・近所の交流を深め向こう三軒両隣の気風を醸成し、協力や助け合いのできる街を目指します。

- ・関係機関との連携を図り、地域環境を整備し、安心して生活できる街を目指します。
- ・見守り活動の充実、地域情報の共有化を図り、高齢者に寄り添える街を目指します。

実現のために取り組むこと

■課題を4つの基本目標のカテゴリーに分類し、その解決と、目指す地域の姿を実現するために、地域で取り組む具体的な内容を導き出しました。また、地域の誰が中心に、いつまでに取り組んでいくかも決めました。

計画の完成

横川地区福祉のまちづくり計画策定の経緯

1. 実態調査 令和6年度(アンケート調査 下記2.に示す団体で、調査の視点や項目・内容等を協議・検討)
- ・自治会長、民生委員・児童委員、福祉協力員、その他協力団体 約100名が調査対象
2. アンケート調査の集計及び結果の分析・検討 令和7年度
- ・連合自治会及びまちづくり協議会役員会、社会福祉協議会、地域ケア会議、包括支援センターなど
3. 福祉のまちづくり計画(案)の策定及び検討 令和7年度
- ・上記2.に示す団体で協議、計画(案)の了承 連合自治会・各種団体長会議に提案決定(令和8年度)

発行年月日 令和8年4月 編集発行 横川地区社会福祉協議会
連絡先 宇都宮市社会福祉協議会 ☎ 028-636-1215

横川地区
福祉のまちづくり計画

＜＜令和8年度～令和9年度(2年間)＞＞

福祉のまちづくり計画って？
地区の福祉課題を把握し、その解決のために今後どのような活動に取り組んでいくのか、また、将来の姿を見据えて「福祉のまちづくり」をどのようにすれば実現できるのかを、地区のみなさんで話し合い、中期的(3～5年程度)にまとめた計画です。

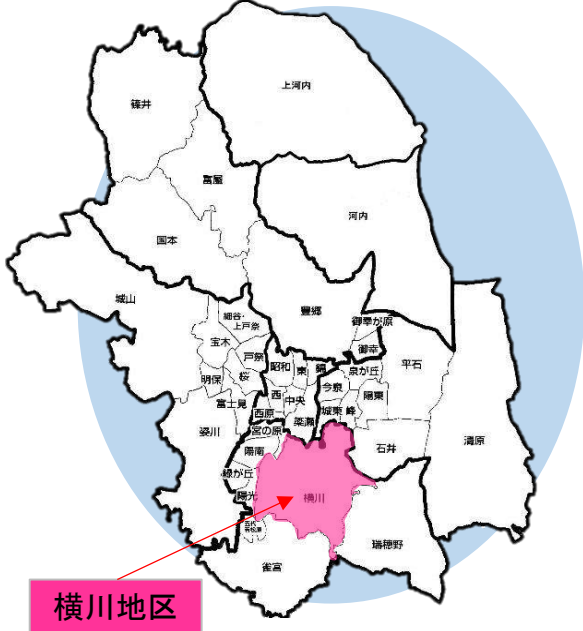
横川地区の現状

人 口 ※1		横川地区	宇都宮市
	年少人口	4,584人 (12.6%)	59,843人 (11.6%)
	生産年齢人口	24,016人 (66.3%)	317,592人 (61.9%)
	高齢者人口 (高齢化率)	7,646人 (21.1%)	135,943人 (26.5%)
	横川地区合計	36,246人	513,378人

※1 宇都宮市オープンデータ「地区別年齢別人口」より(令和7年12月末)

自治会数 ※2	29	782
自治会加入世帯数 ※2	5,490	126,908
全世帯数 ※3	17,549	240,018

※2 令和7年度宇都宮市自治会連合会データより
※3 宇都宮市オープンデータ「地域別面積、世帯数および人口の推移」より(令和7年1月1日現在)



横川地区の特徴

【歴史】
明治22年10か村が合併し、河内郡横川村となり、昭和29年宇都宮市に合併。南部の東横田の「横」、北部の東川田の「川」をとって「横川」と命名されたといわれている。

【地理】
市の南部に位置し、東西3.5km、南北5.5km、面積18,553km²を有している。東部は住宅地、中部は田園地帯、西部は住宅地、商業地となっている。

【交通】
通称東京街道、宇都宮環状線、新国道4号線、北関東自動車道宇都宮上三川ICなど交通至便な地域である。

【現状】
上三川町にまたがるエリアに複合型工業流通団地「インターパーク宇都宮南」を有している。また、大規模ショッピングセンター、家電量販店、ドラッグストアなど、多種多様な商業施設が進出している。北関東最大の郊外型商業施設集積地区となっている。



支え合い助け合いに包まれた温かい横川地区にしよう！

地区の皆さんから出された地区の課題を整理して、目指す地区の姿を考え、それを実現するために必要な取り組みと、地区の強みを生かした、具体的な実行計画を立てました。

基本目標	抽出された課題	目 標	具体的な取組（内容）	活動主体	2026	2027	2028
1. 福祉のこころをはぐむ人づくり	・自治会の加入率が低い。 ・各種団体の役員の担い手が不足している。 ・地域活動への意識が低い。	自治会をはじめ各種団体事業の周知を図り、積極的な参加を促し、活気ある街を目指します。	①自治会への加入活動を推進する。 ②地域活動の大切さや地域貢献に対する充実感をPRする。 ③後継者の人材育成に努める。 ④地域活動への子どもたちの参加を促す。	①連合自治会・まち協 ②連合自治会・まち協・地区社協 地区民児協・福祉協力員連絡会 ③横川地区内16団体 ④青少年育成会・こどもとふれあう会	実施		第6次宇都宮市地域福祉活動計画と併せてリニューアル ～策定・推進～
2. 共に支え合う地域づくり	・地域の一体感が希薄である。 ・生活環境の多様化等により活動機会が合わない。 ・地域諸活動への参加・協力者が固定化している。	近所の交流を深め向こう三軒両隣の風を醸成し、相談、協力、助け合いのできる街を目指します。	①あいさつ、声掛けなど身近な活動を通して、良好な人間関係の構築を図る。 ②地域諸活動への参加・協力を促し、人と人との交流の場づくりに努める。 ③民児協、包括支援センター等の業務内容の周知を図り相談しやすい環境づくりに努める。	①連合自治会・まち協・地区社協 地区民児協・福祉協力員連絡会 ②まち協・体育協会・ことぶきクラブ・こどもとふれあう会 ③地区民児協・福祉協力員連絡会・地区社協・包括支援センター			
3. 安心して暮らせる福祉の基盤づくり	・幹線道路を中心とした交通量が増加している。 ・地域によっては商店が少なく、特に高齢者にとっては不便である。 ・空き家や冬季の枯草が放置されている。	関係機関との連携を図りながら、地域環境の整備に努め、安心して生活できる街を目指します。	①登下校時の交通指導を強化する。 ②地域の見守り点検活動、地域環境の整備を推進する。 ③高齢者の移動手段の充実を図る。	①南交通安全協会・防犯協会 ②連合自治会・南交通安全協会 防犯協会・防災会・環境部会・消防団・女性防火クラブ ③連合自治会・地区社協・ことぶきクラブ・地域内交通運営委員会			
4. 高齢者にやさしい地域づくり	・高齢者や高齢者世帯が増加している。 ・高齢者の居場所づくりが不十分である。 ・高齢者への支援や対応に難しさを感じている。（負担や活動の限界）	見守り活動の充実、地域情報の共有化を図り、誰もが高齢者に寄り添える街を目指します。	①見守り会議を設置し、高齢者の情報収集、実態把握に努め、支援・対応につなげる。 ②関係機関との連携を図り、高齢者（認知症等）への対応の在り方について理解を深める。 ③高齢者を対象とした組織（通称ことぶきクラブ）を中心に、高齢者が集える場の一層の充実を図る。	①連合自治会・地区民児協・福祉協力員連絡会・地区社協 ②地区民児協・福祉協力員連絡会・地区社協・包括支援センター ③連合自治会・ことぶきクラブ・地区社協			



ふれあいまつり



防災訓練



子どもフェスタ



ことぶきクラブ演芸大会



まちづくり講演会



育成会風あげ大会



ふれあいコンサート